

# 大坂城



## 大坂城とは

室町時代後半、世の中は天下を統一しようとする大名たちによって戦乱が続いていました。

織田信長の後継者となった豊臣秀吉は天下統一を成し遂げ、古くからの交通の要所であった大坂を全国支配の拠点とし、そこに巨大な大坂城を築いたのです。大坂城は長く続いた戦乱の終止符ともいえます。

城の周囲には大名たちの屋敷や町人たちの住む広大な城下町がつくられ、活気あふれる都市が出現したのです。大坂のその後の繁栄の基礎は秀吉によって作られたといっても過言ではないでしょう。



## 三国無双の城

豊臣秀吉は1583年から石山本願寺の跡地に大坂城を造り始めます。それ以降、1598年までの16年間に、三回の拡張工事を行い、東西2.2km・南北2.2kmの巨大な大坂城ができ上がりました。その範囲は北が大川、南が空堀通り、西が東横堀川、東がJR環状線付近までの広大なものです。城の周囲や内部には高い石垣や広く深い堀を築き、城内には金箔で飾られた瓦を葺いた建物が建ち並んでいました。

大坂冬の陣図屏風（部分）

東京国立博物館蔵

## 幻の石山本願寺

石山本願寺は1496年に浄土真宗第8代法主蓮如の隠居所として造られ、1532年以降は本願寺となりました。寺の周囲には町屋が多く集り、寺内町が形成され、石山本願寺城と呼ばれるほどの城構を造っていたようです。しかし、織田信長との石山合戦が終った1580年に、火災のため寺内町と共に焼亡してしまいました。

本願寺の位置は現大阪城内とする説が有力ですが、まだ確定していません。周辺では寺内町の一部、堀や畑などが発掘されています。



石山本願寺城？の薬研堀 ⑥

# 1614年冬、大坂は戦場であった。



## “なにわの事もゆめの又ゆめ”

こんな辞世を遺して秀吉が亡くなると、豊臣方に対して徳川方からの攻撃が始まります。1614年の大坂冬の陣では、徳川方20万の軍勢は惣構内には一歩も入れませんでした。この戦いのために大坂城内でも防衛線を固めたことが発掘調査で確かめられました。しかし、翌年の大坂夏の陣では、惣構や二ノ丸の堀を埋められていたために、豊臣方は負けてしまいました。この時の焼け跡が大坂市内の各所で見つかри、大坂城跡の発掘調査の手がかりになっています。

## 城下町船場の開発

秀吉は死の直前の1598年に、それまでの上町の城下町に加え、三ノ丸建設工事と一緒に、大坂城の西に新たな城下町の建設をはじめました。それがいまの船場一帯です。北部の大川(旧淀川)沿いの道修町や高麗橋付近には昔からの町がありましたが、この開発で城下町にとりこまれてしまいます。この時にできた城下町の範囲は北が道修町、南が博労町、東が東橋堀川、西が御堂筋付近までと考えられています。その後、城下町は拡大し、大坂は近世経済の中心地となったのです。



大坂城下 町屋の埋壘と敷地境の溝 ⑦



本丸の地下で見つかった豊臣期の石垣 ①



三ノ丸内の巨大な堀と棧敷を伴う堀 ②



礎石建物とその周りの玉石敷通路 ③

## 城と武家屋敷

堀の深さ口の広き事は比類なし  
 たゞ大河の様候  
 堀底より大石を以て  
 いしさし(石垣)を仰せ付けられ候様躰  
 見るさえも奇特不思議と存じ候(大友宗麟の手紙)  
 城には石垣や堀のほか、土壘や塀で作った防衛線  
 が築かれ、武家屋敷は築地塀で囲まれた中に、礎  
 石建物や土蔵が建ち並んでいました。



武家屋敷の土蔵 ⑤



門と築地塀 ④



## 大坂城跡の発掘調査

国土地理院発行1万分の1地形図  
「大阪城」「天王寺」を使用、一部加筆

最近の都市再開発ブームに伴って、大阪市の地下1mから4mほどの深さに埋もれている大坂城跡の姿が、次第に明らかになりつつあります。現在の大坂城周辺の三ノ丸地域では武家屋敷や城の防衛線と推定される石垣や堀が見つかり、惣構と推定されている地域でも、大川に面する北部で数ヶ所の屋敷地が確認されています。城下町であった船場での調査はまだ多くありませんが、道修町1丁目周辺では安土桃山時代から江戸時代にかけての城下町の変化をたどることができました。

燭

食



食



飾

### 400年前の遺失物



祈り



職

# 大坂城関係年表

- 1496 (明応5) 年  
蓮如、石山 (現大阪城付近) に隠居所を建てる。
- 1532 (天文元) 年  
京都の山科にあった本願寺が焼かれ、本願寺を石山に移す。
- 1570 (元龜元) 年  
石山合戦 (本願寺対織田信長) が始まる。
- 1580 (天正8) 年  
石山合戦終わる。直後に石山本願寺および寺内町炎上。
- 1582 (天正10) 年  
本能寺の変。織田信長没す。
- 1583 (天正11) 年  
豊臣秀吉、大坂城築城開始。本丸工事。
- 1585 (天正13) 年  
大坂城天守完成。
- 1586 (天正14) 年  
大坂城二ノ丸工事 (1588年まで)。
- 1594 (文禄3) 年  
大坂城惣構工事。
- 1598 (慶長3) 年  
大坂城三ノ丸工事。城下町を西に拡大。秀吉没す。
- 1600 (慶長5) 年  
関ヶ原の戦い。
- 1614 (慶長19) 年  
大坂冬の陣。講和後、外堀を埋める。
- 1615 (慶長20) 年  
大坂夏の陣。大坂城は焼亡し、豊臣氏滅ぶ。松平忠明、大坂の領主となり市街地の再建工事を始める。
- 1619 (元和5) 年  
徳川幕府、大坂を直轄地とする。
- 1620 (元和6) 年  
大坂城再建工事が始まる。
- 1629 (寛永6) 年  
大坂城再建工事終了。



大坂城跡の地層 (遺跡はこうして埋まっている)

- 徳川期
- 徳川再築時の盛土
- 豊臣後期
- 豊臣前期末の盛土
- 豊臣前期

## 見学施設案内

- ④ 大阪市立東洋陶磁美術館 (有料)  
中国・朝鮮の貴重な陶磁器が多く集められている。  
入館時間 9:30~16:30  
休館日 日曜・祝祭日と12月28日~1月4日
- ⑤ 第一製薬大阪支店ビル  
大阪支店ビル建設に伴う調査で見つかった出土遺物が展示されている。  
入館時間 9:00~17:00  
休館日 土・日曜祝祭日と12月28日~1月4日
- ⑥ エルおおさか (大阪府立労働センター) 南館  
南館建設に伴う調査で見つかった石垣を地上に復元して公開している。また、出土遺物も展示されている。  
入館時間 9:00~17:00  
休館日 日曜・祝祭日と12月28日~1月4日
- ⑦ 大坂城天守閣 (有料)  
豊臣秀吉が築いた大坂城の歴史や秀吉に関する資料が展示されている。  
入館時間 9:00~16:30  
休館日 12月28日~1月1日
- ⑧ 大阪市立博物館 (有料)  
大坂の原始から近世の歴史が展示されている。  
入館時間 9:15~16:15  
休館日 第2・第4月曜日  
12月28日~1月4日
- ⑨ 森の宮遺跡の展示室 (森ノ宮ピロティールホール1階西側)  
森の宮遺跡の調査で見つかった縄文時代から近世までの遺物を展示している。  
入館時間 12:00~15:00  
休館日 月曜日・祝日の翌日  
12月29日~1月3日
- ⑩ 財大阪市文化財協会難波宮分室  
大阪市内の発掘調査で見つかった遺物が見られる。  
入館時間 10:00~17:00  
休館日 日曜・祝祭日、土曜日は午前のみ  
12月28日~1月4日

### 『大坂城』

1991年10月

編集・発行 財団法人 大阪市文化財協会

〒540 大阪市中央区法円坂1-1-35

大阪市立中央青年センター6階

Tel 06-943-6833

Fax 06-920-2272

